

2024/7/15

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(7月8日~7月12日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,376.1	1,388.1	1,370.0	1,375.8	▲5.5
JPY/KRW	8.5664	8.7305	8.5220	8.7142	+0.129
KOSPI	2,862.58	2,896.43	2,844.88	2,857.00	▲5.23

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,376.1ウォンでオープン。その後材料に乏しい展開も実需のドル買いにサポートされ徐々に上昇し、1,380ウォン台を回復。翌9日には人民元安が進行したことを受けて1380ウォン台半ばまで上昇した。10日も同様に人民元安の進行を横目にウォン安が進行し、1,388.1ウォンの週高値を記録も、午後にかけては翌日の米CPIを控えた様子見姿勢から上げ幅を縮小する動きとなった。11日の日中は1,380ウォン台前半での推移が継続。BOK会合では、利下げ開始時期を巡る不透明感が高まりややウォン買いが強まる展開に。海外時間に発表された米6月CPIが予想を下回るとドル売りが強まり、ドル/ウォンは1,370ウォン台前半まで急落した。12日はドル売りが一服したことからややレベルを戻し、前週末対比▲5.5ウォンの1,375.8ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは揉み合い推移を予想。先週のドル/ウォンは米CPIを受け下落した。今週もパウエルFRB議長をはじめとするFRBメンバーの講演が予定されているほか、小売売上高などの経済指標も発表される。FRB高官のインフレ動向への見解から今後の金融政策のヒントを探る展開か。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1365 ~ 1390	8.55 ~ 8.85	157.0 ~ 160.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(月) 中 6月 小売売上高
中 6月 鉱工業生産
米 7月 NY連銀製造業指数
中 2Q GDP
- 16日(火) 米 6月 小売売上高
- 17日(水) 欧 6月 CPI 確報値
米 6月 鉱工業生産
米 6月 住宅着工件数
- 18日(木) 米 7月 失業保険新規申請者数
日 6月 貿易統計
欧 ECB 政策金利発表
- 19日(金) 日 6月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。